

国際ルール形成とグローバル広報の役割

—國分俊史多摩大学教授によるオンライン講演会を開催—

2021年2月19日

講師：國分 俊史 多摩大学大学院 教授

経済広報センターは2月19日、「国際ルール形成イニシアチブの重要性とグローバル広報の役割」と題するオンライン講演会を開催し、会員企業広報担当者など約80名が参加した。

講師の國分俊史多摩大学教授・ルール形成戦略研究所所長は、米中技術覇権争いの現状を解説したうえで、日本企業が民主主義を意識した経営哲学と戦略的思考をもつ必要があることを強調した。

また、米中覇権争いが、従来の技術規格争いから、秩序の打ち立て合いへと構造的に変化にしていると述べ、国連の15の専門機関におけるトップ人事や、技術企画領域であるISO/IECにおける国際幹事引き受け数などを例に挙げ、国際ルール形成における中国の存在感の高まりを指摘した。

さらに、こうした国際ルール形成における新しい潮流のなかで存在感を示すためには、社会課題を解決するだけでなく、自ら社会問題を引き起こしてルール形成領域をつくり出し、それを解決するかたちで制度覇権を握る国家間競争のなかで、企業がルール形成を競い合う新たな時代になったことが重要と分析。日本企業も、個別の技術力のみならず、自らシナリオを描いてそれを実行する戦略的思考が求められており、そのためには効果的なグローバル広報を通じて理解と共感を得ることも重要と述べた。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。